



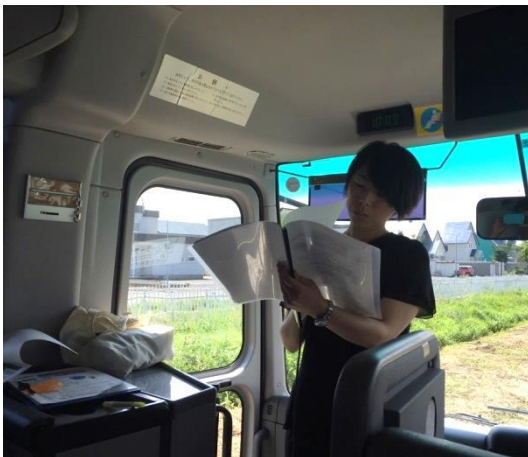
市民施設見学会が終了しました



平成28年8月4日（木）にふらの市民環境会議と富良野市主催の環境関連施設見学会が開催され、ふらの市民環境会議の会員3名と市民25名の方が参加されました。

今回の市民施設見学会は、次世代エネルギーパークに認定されている滝川市の大規模太陽光発電所「滝川ソーラーウェイ」と年間20万人の利用がある温泉施設であり、太陽光・風力・太陽熱の設備が導入されている「滝川ふれ愛の里」を見学させていただき、改めて普段の生活とエネルギーについて見つめ直す機会となりました。

滝川ソーラーウェイ見学の様子



当日は、天候に恵まれ気温が30度近くになっていましたので、バスの車内で、太陽光発電事業を行っている国際航業株式会社の担当者から、ソーラーウェイ事業の内容について説明を受けました。

この施設は、廃校になった小学校のグラウンドを滝川市から20年間賃借して太陽光発電施設を設置し、草刈りなどの管理については、地域の町内会と連携をして管理しています。地域の小学生を対象にした環境学習を行ったり、市や地域にも貢献するような活動を行っていました。

その後、実際にパネルに触れたり、太陽光発電で作られた電気で作ったパンケーキを試食しました。



滝川ふれ愛の里見学の様子

滝川ふれ愛の里は、再生可能エネルギーを利用し、災害時の避難所として整備されました。施設には、「太陽熱」「太陽光発電」「風力発電」の3エネルギー設備があります。

太陽熱では、太陽熱を利用したボイラーがありコテージや温泉施設に供給されています。太陽光発電や風力発電で発電された電気をコテージやふれ愛の里の電源に利用しています。

